

# 甲府商工会議所早期景気観測システム

## 調査結果概要報告(2・3月)

- ・調査期間 平成20年3月14日から3月31日
- ・調査対象 当所会員事業所 207社  
回収数 144社 69.2%
- ・調査項目 2・3月の業況・売上・採算等についての状況  
(DI値を集計)及び、業界として当面とする問題

DI(デフュージョン・インデックス)とは業況・売上・採算等の各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の多いことを示す。例えば、回答した企業100社のうち30%の企業で売上が増加し、10%の企業が減少した場合、DIは30% - 10%で20ポイントとなる。しかしこれは売上高などの実数値の上昇率を示すのではなく、強気・弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

業況・採算・金融の貸出し:(好転) - (悪化)

売上:(増加) - (減少)

仕入単価:(下落) - (上昇)

従業員:(不足) - (過剰)

### 2・3月期のポイント

**原油高・仕入価格上昇で仕入単価DIは最悪値を更新するも、「山梨デスティネーションキャンペーン」による春の観光シーズンに期待！**

2・3月の状況を見ると、全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は前期(12・1月期)水準(47.3ポイント)より0.1ポイント改善で47.2ポイントと横ばいの状況(前年同期比19.4ポイント悪化)となった。売上DIは24.3ポイントで、前期比14.2ポイント改善(前年同期比7.8ポイント悪化)、採算DIは49.3ポイントで、前期比7.4ポイント悪化(前年同期比22.1ポイント悪化)した。

全産業合計の仕入単価DIの推移では、前期(12・1月期)の60.8ポイントから71.5ポイントへ10.7ポイント悪化で、ここ1年で最大のマイナス幅である。産業別の仕入単価DIでは製造業が76.5ポイント、建設業が93.9ポイント、サービス業が81.8ポイントとなっており、これらの3業種においては、ここ1年で仕入単価DIの悪化が最大値となっている。

また、全体業況DIは、調査開始(平成6年4・5月期)以来83期連続マイナス水準であり、マイナス2桁水準では平成6年10・11月期以来81期連続となっている。

産業別に見ると、

**製造業**の業況 DI は、 32.4ポイントで前期に比べてマイナス幅が4.2ポイント改善し、前年同期と比較するとマイナス幅が14.5ポイント悪化した。業種別で見ると食品は 33.3ポイントで前期と比較するマイナス幅が12.2ポイント改善で、前年同期と比較するとマイナス幅が33.3ポイント悪化している。工業製品は0.0ポイントで前期と比較するとマイナス幅が22.2ポイント悪化し、前年同期と比較すると28.6ポイント悪化している。宝飾は 33.3ポイントで前期と比較するとマイナス幅が21.2ポイント改善し、前年同期と比較しても26.7ポイント改善している。食品は業況DIが前期と比較すると改善しているものの、相変わらず原油高騰と小麦粉、乳製品等原材料の値上げによる影響と、中国産原料問題による国産食材使用によるコスト高の影響の声が聞かれ、宝飾からは、材料である地金(金・プラチナ)の高騰により、収益を圧迫しているとの声が聞かれる。

**建設業**の業況 DI は、 69.7ポイントで前期に比べてマイナス幅が5.3ポイント改善し、前年同期と比較するとマイナス幅が39.7ポイント悪化している。業種別で見ると建築は 66.7ポイントで前期と比較すると23.3ポイント改善で、前年同期と比較するとマイナス幅が21.2ポイント悪化している。また土木は 50.0ポイントで前期と比較するとマイナス幅が30.0ポイント改善し、前年同期と比較するとマイナス幅が7.1ポイント悪化している。鉄鋼では 75.0で前期と比較するとマイナス幅が10.3ポイント悪化し、前年同期と比較すると56.8ポイントと大幅に悪化している。鉄鋼はここ1年で業況DIが最大のマイナス幅となっており、建設業全体の仕入単価DIも 93.9とマイナス幅が拡大している。建設業全体から原油高騰、材料高の影響や県内大手建設業者の倒産等に伴う影響で先行きに不安を感じるとの声が聞かれる。

**卸売業**の業況 DI は、 56.0ポイントで前期に比べマイナス幅が13.9ポイント悪化し、前年同期と比較するとマイナス幅が21.2ポイント悪化している。業種別では、食品は 66.7ポイントで前期と比較するとマイナス幅が66.7ポイントと大幅に悪化し、前年同期と比較しても41.7ポイント悪化している。その他は 37.5ポイントで前期と比較するとマイナス幅が12.5ポイント改善し、前年同期と比較するとマイナス幅が4.2ポイント悪化している。食品からは中国野菜の需要の減少により、国産野菜の価格が高騰しているとの声があり、その他の業種からは原油高騰による仕入価格の上昇で採算悪化を懸念する声が聞かれる。

**小売業**の業況 DI は、 40.0ポイントで前期に比べマイナス幅が10.0ポイント改善し、前年同期と比較すると同水準である。業種別では、大型店は0.0ポイントで前期と比較するとマイナス幅が16.7ポイント改善で、前年同期と比較すると16.7ポイント悪化している。趣味・日用品は 61.5ポイントで前期と比較するとマイナス幅が7.7ポイント悪化し、前年同期と比較すると21.5ポイント悪化している。趣味・日用品からは客数の減少、購入金額の減少が業況の悪化の要因と感じるとの声が聞かれる。

サービス業の業況DIは、36.4ポイントで前期に比べマイナス幅が11.4ポイント悪化し、前年同期と比較するとマイナス幅が22.1ポイント悪化している。業種別にみると、ホテル・旅館は25.0ポイントで前期と比較するとマイナス幅が8.3ポイント悪化し、前年同期と比較すると25.0ポイント改善している。観光は28.6ポイントで前期と比較するとマイナス幅が14.3ポイント悪化で、前年同期と比較すると57.2ポイントと大幅に悪化している。飲食では57.1ポイントで前期と比較するとマイナス幅が14.2ポイント悪化し、前年同期と比較すると32.1ポイント悪化している。観光は4月からの「山梨デスティネーションキャンペーン」による集客に期待する声が聞かれる。

全産業合計の業況DIをみると、47.2ポイントで、前期よりマイナス幅が0.1ポイントの改善で、横ばいの状況となった。また向こう三ヶ月の先行き見通しは、全産業合計の業況DIで37.5ポイントと前期よりマイナス幅が若干の3.0ポイント改善となった。

# 景況天気図



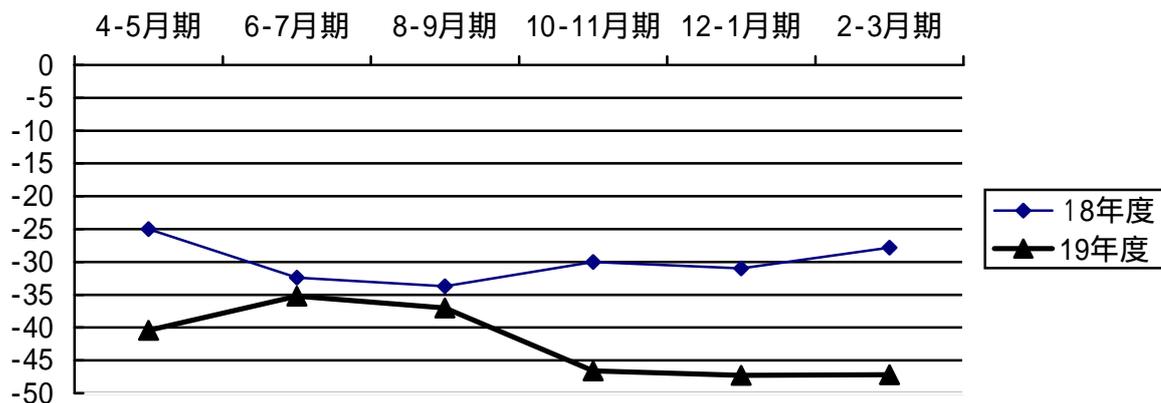
とくに好調 (50 DI)    好調 (25 DI < 50)    まあまあ (0 DI < 25)    不振 (25 DI < 0)    きわめて不振 (DI < 25)

## 2・3月期

	全産業		製造業		卸売業		建設業		小売業		サービス業	
	今期	先見通行し	今期	先見通行し								
業況	47.2	37.5	32.4	17.6	56.0	28.0	69.7	72.7	40.0	36.7	36.4	27.3
売上	24.3	22.2	17.6	8.8	4.0	4.0	51.5	57.6	13.3	13.3	31.8	22.7
採算	49.3	36.1	44.1	26.5	36.0	32.0	63.6	66.7	46.7	23.3	54.5	27.3
仕入単価	71.5	67.4	76.5	61.8	72.0	60.0	93.9	90.9	33.3	43.3	81.8	81.8
従業員	0.0	4.2	0.0	11.8	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
金融の貸出し	13.2	15.3	14.7	14.7	8.0	8.0	15.2	21.2	3.3	0.0	27.3	36.4

### 業況DIの推移(前年同期比)

	4-5月期	6-7月期	8-9月期	10-11月期	12-1月期	2-3月期
業況(18年度)	- 25.0	- 32.4	- 33.7	- 30.0	- 31.0	27.8
業況(19年度)	- 40.4	- 35.2	- 37.0	- 46.6	- 47.3	- 47.2



# 景況天気図



とくに好調    好 調    まあまあ    不 振    きわめて不振

(5 0 DI)    (2 5 DI < 5 0)(0 DI < 2 5)    ( 2 5 DI < 0)(DI < 2 5)

## 製造業

	製 造 業		食 品		家 具		工 業 製 品		宝 飾		織 維	
	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し
業況	32.4	17.6	33.3	16.7	50.0	100	0.0	16.7	33.3	0.0	66.7	33.3
売上	17.6	8.8	16.7	25.0	50.0	100	33.3	50.0	11.1	22.2	100	33.3
採算	44.1	26.5	58.3	33.3	75.0	100	16.7	33.3	44.4	11.1	66.7	66.7
仕入単価	76.5	61.8	91.7	83.3	100	100	50.0	33.3	77.8	44.4	33.3	33.3
従業員	0.0	11.8	0.0	25.0	0.0	25.0	16.7	16.7	11.1	11.1	0.0	0.0
金融の貸出し	14.7	14.7	8.3	0.0	50.0	100	0.0	0.0	33.3	22.2	33.3	33.3

## 建設業

	建 設 業		建 築		土 木		鉄 鋼	
	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し	今 期	先 見 通 行 し
業況	69.7	72.7	66.7	44.4	50.0	50.0	75.0	90.0
売上	51.5	57.6	66.7	33.3	25.0	50.0	50.0	70.0
採算	63.6	66.7	55.6	44.4	50.0	25.0	70.0	85.0
仕入単価	93.9	90.9	100	88.9	100	75.0	90.0	95.0
従業員	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.0
金融の貸出し	15.2	21.2	22.2	22.2	0.0	50.0	15.0	15.0

# 景況天気図



とくに好調 好調 まあまあ 不振 きわめて不振  
 (5.0 DI) (2.5 DI < 5.0) (0 DI < 2.5) (2.5 DI < 0) (DI < -2.5)

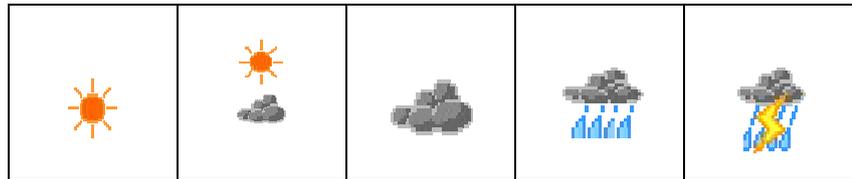
## 小売業

	小売業		大型店		食品		事務用品		日用品・趣味		家電	
	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し
業況	40.0	36.7	0.0	20.0	20.0	0.0	50.0	75.0	61.5	38.5	33.3	66.7
売上	13.3	13.3	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	50.0	46.2	23.1	33.3	66.7
採算	46.7	23.3	0.0	0.0	60.0	20.0	50.0	100	61.5	0.0	33.3	66.7
仕入単価	33.3	43.3	20.0	20.0	60.0	60.0	75.0	100	15.4	30.8	33.3	33.3
従業員	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0	7.7	7.7	0.0	0.0
金融の貸出し	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	7.7	0.0	0.0

## 卸売業

	卸売業		食品		繊維		その他	
	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し	今期	先見通行し
業況	56.0	28.0	66.7	33.3	62.5	37.5	37.5	12.5
売上	4.0	4.0	11.1	33.3	37.5	25.0	37.5	25.0
採算	36.0	32.0	55.6	11.1	25.0	37.5	25.0	50.0
仕入単価	72.0	60.0	88.9	100	37.5	25.0	87.5	50.0
従業員	0.0	4.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5
金融の貸出し	8.0	8.0	11.1	11.1	12.5	12.5	0.0	0.0

# 景況天気図



とくに好調    好    調    まあまあ    不    振    きわめて不振  
 ( 5 0 DI)    ( 2 5 DI < 5 0 ) ( 0 DI < 2 5 ) ( 2 5 DI < 0 ) ( DI < 2 5 )

## サービス業

	全般		ホテル・旅館		観光		飲食	
	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し	今 期	先見 通 行し
業況	36.4	27.3	25.0	12.5	28.6	14.3	57.1	85.7
売上	31.8	22.7	37.5	12.5	42.9	28.6	14.3	85.7
採算	54.5	27.3	62.5	12.5	42.9	28.6	57.1	100
仕入 単価	81.8	81.8	100	100	42.9	42.9	100	100
従業員	0.0	4.5	12.5	12.5	0.0	0.0	14.3	0.0
金融の 貸出し	27.3	36.4	12.5	37.5	14.3	14.3	57.1	57.1